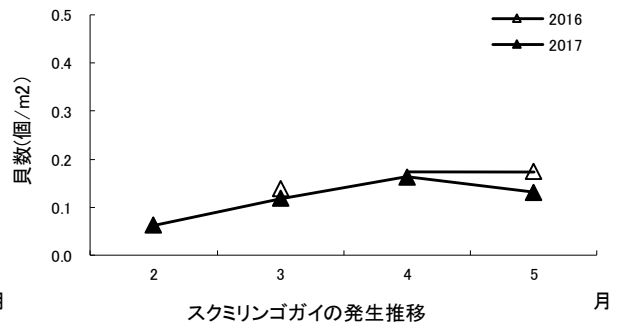
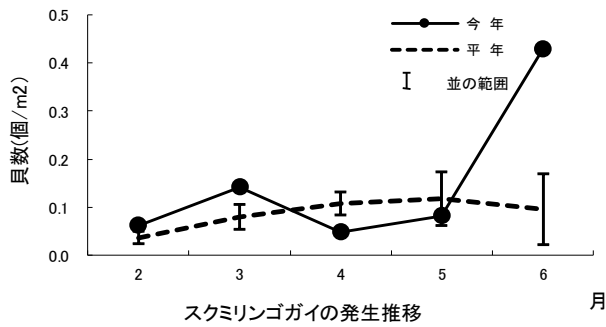


作物	水稻	地域	八重山群島
病害虫名	スクミリンゴガイ		
6月の発生量（現況）		多	
7月の増減傾向			
増減傾向の根拠			


発生量の根拠（調査結果）



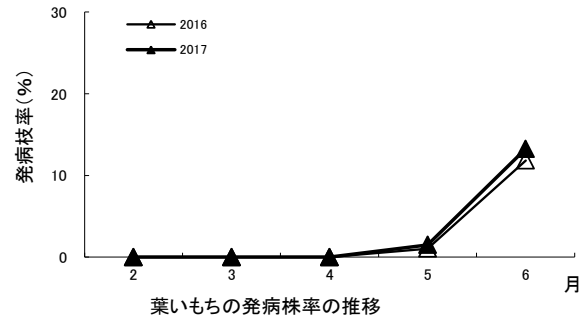
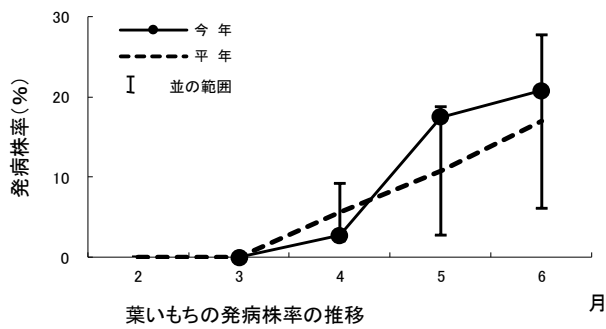
- ・ 調査地域：石垣市
- ・ 貝数（個/m<sup>2</sup>）：0.4（前年0.1未満、平年0.1、判定「多」）
- ・ 発生ほ場率（%）：50.0（前年12.5）

防除のポイント

- ・ 次作に向けた密度低減を図るため、貝や卵塊は見つけ次第捕殺する。なお、捕殺時はゴム手袋を着用する。
- ・ 畦畔および用排水路周辺の雑草を除去し、産卵場所を作らない。
- ・ 取水口に侵入防止網（目合6~9mm程度）を設置し、用排水路からの侵入を防ぐ。

作物	水稻	地域	八重山群島
病害虫名	葉いもち病		
6月の発生量（現況）		並	
7月の増減傾向			
増減傾向の根拠			


発生量の根拠（調査結果）



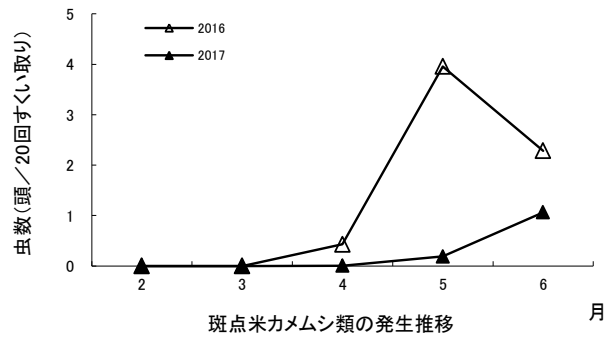
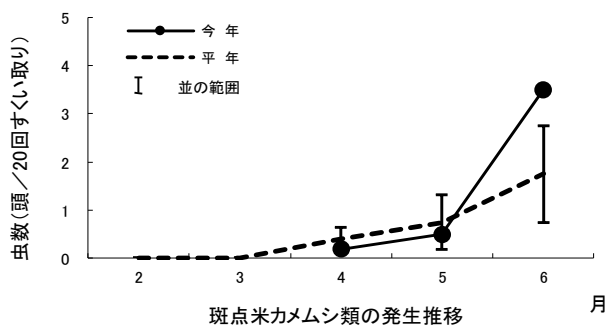
- ・ 調査地域：石垣市
- ・ 葉いもち発病株率 (%)：20.8（前年13.2、平年16.9、判定「並」）
- ・ 葉いもち発生ほ場率 (%)：68.8（前年62.5）
- ・ 穂いもち発病株率 (%)：6.6（前年3.3）
- ・ 穂いもち発生ほ場率 (%)：50.0（前年25.0）
- ・ 関係機関による報告：一部で葉及び穂いもちの多発生が見られた（石垣島・西表島）。

防除のポイント

- ・ 収穫後の被害わらは次作の感染源となるため、水田付近に放置しない。
- ・ ほ場周辺のイネ科雑草は次作の感染源となるため、除草を行う。
- ・ 汚染もみは次作の感染源となるため、発生ほ場からは採種しない。

作物	水稻	地域	八重山群島
病害虫名	斑点米カメムシ類		
6月の発生量（現況）		やや多	
7月の増減傾向			
増減傾向の根拠			


発生量の根拠（調査結果）



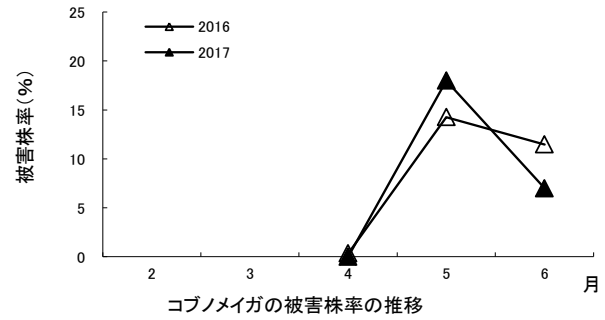
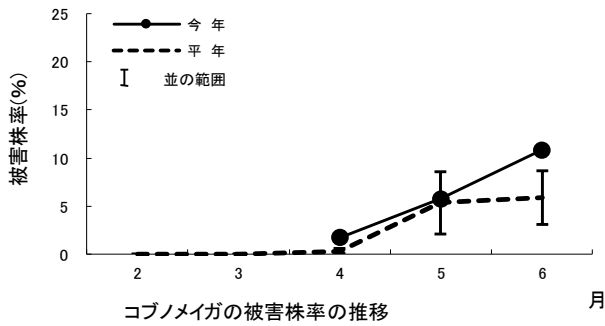
- ・ 調査地域：石垣市
- ・ 捕虫網20回すくい取り虫数（頭）：3.5（前年1.1、平年1.7、判定「やや多」）
- ・ 発生ほ場率（%）：57.1（前年56.3）
- ・ 発生種：アカカメムシ、ミナミアオカメムシ、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、アカスジホソナガカスミカメ、ミナミホソナガカメムシ

防除のポイント

- ・ 次作に向けた密度低減を図るため、畦畔および水田周辺の除草を行う。

作物	水稻	地域	八重山群島
病害虫名	コブノメイガ		
6月の発生量（現況）	やや多		
7月の増減傾向			
増減傾向の根拠			

発生量の根拠（調査結果）



- ・ 調査地域：石垣市
- ・ 被害株率（%）：10.9（前年7.0、平年5.0、判定「やや多」）
- ・ 発生ほ場率（%）：71.4（前年56.3）

防除のポイント

- ・ 次作に向けた密度低減を図るため、畦畔および水田周辺の除草を行う。